

令和7年度

事業報告書

学校法人 足立学園

目 次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神	1
(2) 設置する学校・学部・学科等	1
(3) 沿革	2～3
(4) 組織図	4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等	5
(6) 役員・評議員・会計監査人・理事選任機関	6
(7) 教職員等	6

2. 事業の概要

(1) 愛知文教大学	7～14
(2) 愛知文教女子短期大学	15～22

3. 財務の概要

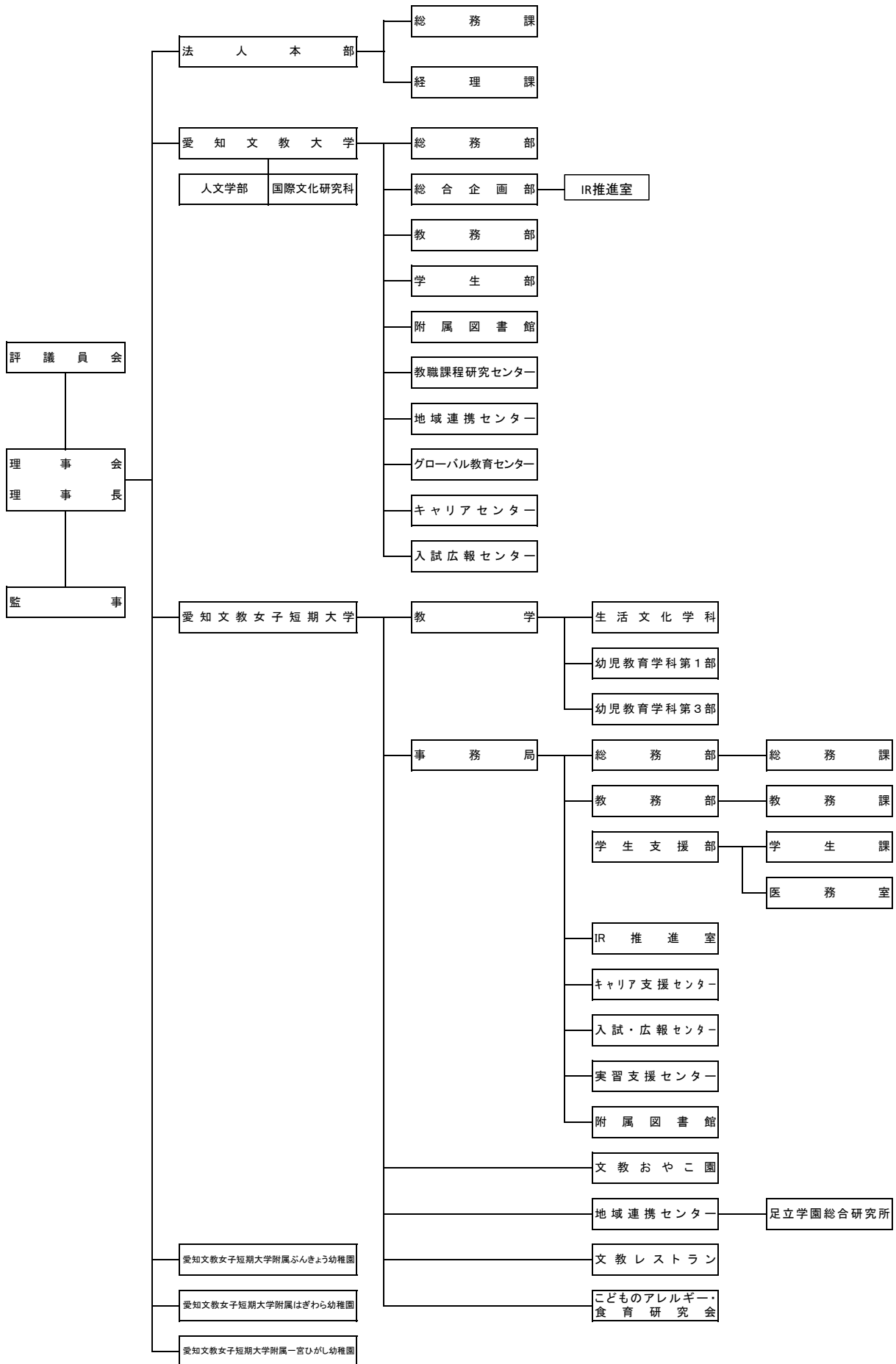
(1) 資金収支計算書の推移	23
(2) 活動区分資金収支計算書の推移	24
(3) 事業活動収支計算書の推移	25
(4) 貸借対照表の推移	26
(5) 令和4年度事業活動収入及び支出の構成比	27
(6) 主な財務比率の推移	28
(7) その他 財務諸表の説明等	29

(3) 沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可 家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	稲沢女子短期大学家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	稲沢女子短期大学家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部保育養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部保育養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科をデザイン美術科に名称変更
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	稲沢女子短期大学本館竣工記念式典挙行
昭和 60 年 11 月	稲沢女子短期大学 2 号館竣工記念式典挙行
平成 2 年 3 月	稲沢女子短期大学家政科を生活文化学科に名称変更 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園に名称変更 愛知文教女子短期大学 3 号館竣工記念式典挙行
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可
平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典挙行
平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可

平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザイン美術科をデザインアート学科に名称変更
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科第 1 部を生活文化学科に名称変更
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 10 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃止
平成 28 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科生活文化専攻 情報ビジネスコースを新設
平成 28 年 6 月	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業に採択
平成 28 年 11 月	文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定
令和 3 年 7 月	愛知文教女子短期大学創立 70 周年
令和 5 年 4 月	愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園を愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園に、愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園を愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園に、愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園を愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園に名称変更
令和 7 年 3 月	愛知文教女子短期大学の 2026 年度以降の学生募集停止を文部科学省に届出
令和 8 年 3 月	愛知文教大学及び愛知文教大学大学院の 2027 年度以降の学生募集停止を文部科学省に届出

(4) 学校法人足立学園組織図（令和7年度）



(5) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2025年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	56	15	12	470	246
	大学院修士課程	8	2	-	-	16	7
	小計	118	58	15	12	486	253
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	26	-	-	140	52
	幼児教育学科第1部	50	7	-	-	100	19
	幼児教育学科第3部	70	41	-	-	210	125
	小計	190	74	0	0	450	196
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園		-	-	-	-	360	224
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園		-	-	-	-	270	167
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園		-	-	-	-	207	140
計		308	132	15	12	1,773	980

2026年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	56	15	12	470	242
	大学院修士課程	8	2	-	-	16	4
	小計	118	58	15	12	486	246
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	-	-	-	-	70	25
	幼児教育学科第1部	-	-	-	-	50	7
	幼児教育学科第3部	-	-	-	-	140	81
	小計	0	0	0	0	260	113
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園		-	-	-	-	360	204
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園		-	-	-	-	270	144
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園		-	-	-	-	207	145
計		118	58	15	12	1,583	852

(6) 役員等の状況 (2026年3月31日現在)

①役員

理事	定数	現員
	7名	7名

理事長	足立 誠	
理事	富田 健弘	愛知文教大学学長、愛知文教女子短期大学学長
理事	星野 秀樹	愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園園長
理事	鈴木 雅之	法人本部長・財務担当
理事(学外)	土川 保夫	
理事(学外)	林 茂夫	
理事(学外)	片岡 太郎	

監事	定数	現員
	2名	2名

監事	加藤 愛一郎	
監事	戸松 卓治	

【役員賠償責任保険について】

本法人は、東京海上日動火災保険株式会社との間で、本法人の全ての理事及び監事を被保険者として役員賠償責任保険に加入しています。学校法人の役員に発生する損害賠償や訴訟費用が補償対象です。なお保険料については、全額法人負担としております。

②評議員

評議員	定数	現員
	8名～13名	8名

足立 一郎	足立 諭	足立 正和	立川 雄子	安井 映理子
稲垣 正義	猪子 雅王	塚本 壽男		

③会計監査人

会計監査人	加藤 伸二	公認会計士 加藤 伸二事務所
-------	-------	----------------

④理事選任機関

この法人の理事選任機関は、評議員会とする。

(7)教職員の状況 (2025年5月1日現在)

学校名	本務教員	本務職員	計
法人	0	3	3
愛知文教大学	19	16	35
愛知文教女子短期大学	24	15	39
ぶんきょう幼稚園	12	2	14
はぎわら幼稚園	11	2	13
一宮ひがし幼稚園	10	1	11
合計	76	39	115

2025年度(令和7年度) 愛知文教大学 事業報告

1. 教育研究活動

(1) 研究発表

本学は教育研究の柱を「アカデミアゼミ教育」と「卒業研究」としている。3、4年生全員に研究発表を課している。1、2年生は発表見学者として参加させた。また2年生は3年次の希望ゼミを選択する場とした。2025年は12月23日(火)に実施した。発表の中心は4年生とし、学内学会「国際文化学会」として教員の発表もあった。当日名古屋西高校の生徒約20名が学習の一環で午後から本学を訪問し、教員発表の一部を聴講した。

(2) 国際文化学会発表

- ①松村美奈先生 十返舎一九の「往来物」作品について
- ②早川渡先生 「ことば」で開発するアプリの世界
- ③西口智也先生 中国語(普通話)習得における台湾華語(國語)学習の効果と意義
- ④佐藤良太先生 夏目漱石『坊っちゃん』—明治の教育雑誌から読む〈学校〉—
- ⑤田中耕太郎先生 人工知能とつきあう

(3) アジア語学研修(2025年度)

①フィリピン英語研修

期間:2026年3月2日(月)~3月27日(金) 参加者:2年次生6名(女6名)
研修先:ラブラブセブ国際大学

②台湾語学研修

期間:2026年2月22日(日)~3月14日(土) 参加者:1年次生4名(男1名・女3名)
研修先:台湾師範大学国語教学センター

③多文化共生プログラム実施報告

期間:2026年3月5日(木)~3月9日(月) 参加者:大学生 2名 教職員等2名 計4名
研修先:ベトナム(VAN LANG 大学)

(4) 語学ラウンジ教育

①E ラウンジ :英語会話

春期 SA 3名 学生数23名 / 秋期 SA 3名 学生数8名

②CC ラウンジ:発音習得。簡単な日常会話演習。HSK2級単語修得確認

春期 SA 7名 学生数 38名/ 秋期 SA 9名 学生数10名

③J ラウンジ:日本語のテキストにしたがい、JLPT1, 2級の取得を目指す

春期 SA 9名 学生数 42名/ 秋期 SA 8名 学生数21名

(5) オンライン(ZOOM)を活用した国際交流学修

①「e-Tandem Learning 中国語 A/B」*選抜クラス・クォーター制

北京外国語大学の学生とのインターネットを活用した中国語修得および異文化理解を目的とした互惠学修。

e-Tandem Learning 中国語 A 4月11日~5月30日 6名(2年次女3名、男1名、3年次女2名))

e-Tandem Learning 中国語 B 9月26日~11月21日 6名(1年次女3名、2年次男1名、女2名)

②「e-Global Communication」*選択科目・秋期集中講義 2月3日~2月13日

国立昌原大学校(韓国)、三江学院(中国江蘇省)、静宜大學(台湾台中)、致理科技大学(台湾台北)の日本語学修生とのインターネットを活用した異文化間コミュニケーションを通して多文化共生を学ぶ実践学修。協同学修の成果を「愛知文教大学学長杯プレゼンテーション大会」で披露し、最優秀賞を授与。

本学履修者 8名(1年次生女4名、2年次生男1名、3年次生女3名)

(6) 学外奨学金取得実績

- ①公益財団法人 市原国際奨学財団 (1名)
- ②公益財団法人 大幸財団 (1名)
- ③公益財団法人 日本特殊陶業海外留学生奨学基金 (1名)

(7)交換留学生制度

- ①日本から提携大学への交換留学生

今年度は説明会の参加者はあったが、希望者は出なかった。

- ②提携大学から本学へ交換留学生

9月期より7名:北京外国語大学(2名)1年間・北京聯合大学(1名)1年間・三江学院(2名)…1年間、1名自己都合により半年間で帰国・安徽師範大学(2名)半年間

- ③編入学

4月期:計9名(天津職業技術師範大学7名・広東省外語芸術業職業学院2名)

天津職業技術師範大学の入学者4名、自己都合により1年間で帰国

9月期:計7名(西安交通大学蘇州研究院5名・青島職業技術学院1名・科目生からの入学1名)

(8)国際交流地域連携

羽島市国際交流協会より本学留学生との交流事業「留学生と語ろう」の協賛依頼があり実施した。なお、今年度で3回目となる。

開催日 2025年8月19日

場 所 愛知文教大学(食堂)

参加者 参加者24名(小・中学生8名 留学生16名)

(9)留学生サポート

- ①同窓会(「留学生会」)の活動

2025年4月に留学生の同窓会「留学生会」を発足し、大学と卒業生のネットワーク構築を図っている。既卒者については事務局に記録がある範囲で入会の案内を送り、当該年度の卒業生には卒業前に入会の案内を行っている。(2026年3月31日時点で42名)また、2025年度は5月、9月、12月の三回、会報を配信した。

- ②研修旅行

毎年開催している留学生研修旅行を2025年度は2025年8月4日(月)に挙行了した。

行き先:御岳ロープウェイ

参加人数:40名(引率教職員3名、一般学生5名を含む)

(10)語学関係資格取得および留学状況(2026年5月1日現在)

HSK 資格取得者数

4級 5名 参考(中国語を母語とする者と話せる)

3級 6名 参考(基本的なコミュニケーション)

2級 2名 参考(初級中国語の上位レベル)

*e-Tandem Learning 中国語 A、e-Tandem Learning 中国語 B、e-Global Communication 履修者はHSK合格者に多い

TOEIC 195、TOEIC 215

TOEIC 310、TOEIC 310、TOEIC 320、TOEIC 335 TOEIC 335、TOEIC 355

TOEIC 405、TOEIC 425、TOEIC 460

TOEIC 505

TOEIC 910

参考: TOEIC のレベル

TOEIC(L&R)の点数は10~990点の5点刻みで評価、全体の平均点は約612点

短期留学: 中国語 4名、英語 2名

2. 自己点検・評価委員会

- ①外部評価委員会を実施した。2021 年度に大学機関別認証評価(日本高等教育評価機構)を受審し「適合」を得ている。次回認定評価は 2028 年を計画している。2025 年度は現状評価について外部評価委員会を、2025 年 2 月 6 日(木)に実施した。
- ②外部評価委員:武市 礼子(小牧市教育委員会文化財課課長)、山口 哲(愛知県立春日井東高等学校校長)、平手 悠佳里(小牧市北里児童館館長)、早川 渡(愛知文教大学教授)、裨宜佐統美(愛知文教女子短期大学教授)
- ③自己点検評価(第 4 期システム)評価表 理事会で確認が必要 別表 1 参照

3. 地域・社会活動(2025 年度)

小牧市文化財啓発事業調査研究委託報告

小牧市文化財啓発事業調査研究委託業務受託委員会(2025 年度事務長 和田)

委員会は 2025 年度内に3回開催(6/19,11/6,3/12)

2025 年度:7,858,400 円の研究調査委託費を小牧市から委託した。(2026 年度も同額)

(1)小牧市歴史文化基礎講座—小牧と周辺の歴史を学ぶ—を開催する。

①月日、演題、講師等

回	月 日	演 題	講 師	備考
1	6月28日(土)	尾張のあけぼの 文時代の知恵と暮らし～	愛知県埋蔵文化財センター調査員 川添 和暁	72 人
2	7月 5日(土)	外山銅鐸・三ツ山古墳獣帯鏡 から見えてくる風景 ～小牧・大山川水系の弥生・古 墳時代～	NPO 法人古代瀬波の里・文化遺 産ネットワーク 赤塚 次郎	85 人
3	7月12日(土)	小牧山と創垂館の魅力	名古屋工業大学名誉教授 麓 和善	62 人

②時 間 午後2時～3時30分

③会 場 小牧市役所東庁舎5階 大会議室

④参加費 各回とも300円

⑤定 員 各回とも150名

(2)小牧市歴史講座

「城郭建築に恋をして」をテーマに講演を開催する

①月日、演題、講師等

回	月 日	演 題	講 師	備考
1	11 月 15 日(土)	三河中入りと城郭	岩崎城歴史記念館 学芸員 内貴 健太	147 人
2	11 月 22 日(土)	小牧・長久手合戦後の徳 川家康の城郭戦略	日本城郭協会 理事 加藤 理文	153 人

②時 間 毎回 午後2時～3時30分

③場 所 小牧市まなび創造館(ラピオ 5 階) あさひホール

④参加費 400円

⑤定 員 300名 (現在 200 名程度)

(3)小牧市制 70 周年記念歴史講座

①月日、演題、講師等

1	11月29日(土)	織田信長・徳川家康の 小牧山城	名古屋市立大学教授 千田 嘉博	962 人
---	-----------	--------------------	--------------------	----------

②時 間 午後2時～3時30分

③場 所 小牧市市民会館大ホール

④参加費 無料

⑤参加者数 962名

(4)夏休み子ども向け講座「子ども古文書寺子屋」(会場予約済)

①日 時 令和7年7月27日(日)・8月3日(日)の2回連続講座 午前10時30分から正午

②講 師 酒向道夫 他小牧市古文書調査会の皆さん

③場 所 ラピオ4階多目的室

④参加費 無料

⑤参加者数 8名 (小学4～6年生まで) ※同伴者の参加可(7名)

(5)古文書講座

①基礎講座(4回)

日 時 令和7年9月6日、13日、20日・27日の各土曜日

午前10時30分～正午

講 師 酒向道夫 他小牧市古文書調査会の皆さん

内 容 古文書の基礎から解読の実践へ

場 所 まなび創造館 多目的室

参加者数 30名

参加費 850円

②実践講座(4回)

日 時 令和8年1月10日・17日・24日・31日の各土曜日

講 師 小牧市古文書調査会の皆さん

内 容 講師の助言を得ながら自分で読み進め実践力を身に付けます

場 所 まなび創造館 多目的室

参加者数 43名(基礎講座参加者多数)

参加費 850円

(6)文化財整理品の展示イベント

昨年度で完了した民具整理品について「民具展示イベント」を企画し、一部民具(農具)を展示する。

「これな～んだ！ 古い農具」企画展

小牧市が収蔵するかつて実際に使用されていた古い農具の一部を展示し、昔の農業の様子や当時の人々の工夫を紹介する。

①日 時 令和7年8月18日(月)から24日(日)

②場 所 小牧市中央図書館 1階展示スペース

③協力委員 岩坪拓二郎 大川勝 岸下秀子 藤堂修一 中澤勇一 船橋稔 舟橋節子 吉田恭三 宮崎貴光

④来場者 462名

(7)小牧市文化財巡り

「小牧市文化財地図」(訪ね歩きマップ)を片手に三ツ瀨地区(正眼寺周辺)を実際に歩き文化財の見学を行う。

①文化財巡り

日 時 令和7年11月9日(日)

場所 三ツ瀨地区(正眼寺周辺)

案内人 西川菊次郎はじめ文化財地図作成委員

集合場所・時間 開催地区により決定 午前8時30分集合～正午解散

参加費 400円(小・中学生無料)

参加者数 20名

②訪ね歩きマップの増刷

マップの校正作業と印刷(小牧の旧道 上街道)在庫の関係から(4,000部)

改訂部分の洗い出し、修正原稿入稿・校正中(味岡地区)

味岡地区訪ね歩きマップ改訂版の印刷は、令和8年度に行う。

令和8年度「北里地区」改訂部分の洗い出し、調査の予定

(8)「小牧のまつり」作成事業

今年度は、小牧市内の「小牧地区のまつり(神明社 秋葉祭り)」を調査対象とし、映像資料(DVD)の作成。

①委員 岩坪拓二郎、倉知俊夫、藤堂修一、西川菊次郎、三輪徹、宮崎貴光

②令和8年度作成予定:「小牧地区のまつり(神明社 秋祭り)」※現在作成中

田県神社豊年祭 3月15日(日)撮影を行う。

(9)小牧市古文書調査と資料の刊行

①小牧市古文書調査会(藤堂修一代表)

②今年度は、江崎文書資料の内「御殿守・新田頭諸記録」に関する部分の釈文調査を行う。

(10)デジタル小牧宿の作成

①日 時 2026年度

②実施場所 愛知文教大学(内田研究室)

③内 容 近世・近代・現代の小牧宿を、GIS(地理情報システム)や3DCGなどを用いて復元する。研究成果は、復元データをインターネット上で公開、関連する講座の開催、小牧市内での展示などによって市民に公開する。

2025年度成果物として、小牧宿の現代の地図をふまえた江戸時代の精緻な絵地図の作成をめざす

(11)「信長文庫」の収集・整理

織田信長、小牧山城、小牧・長久手の戦いに関する史・資料の収集整理をする。

定期刊行物(今年度購入済書籍)

城郭史研究 44号 戦国史研究 89・90号

中世史研究 49・50号 織豊期研究 27号

その他 信長文庫にふさわしい出版物(今年度未購入書籍)

1 超新説で読み解く信長・秀吉・家康の真実 跡部 蕃 著 ビジネス社 1,500(税別)

2 信長って、どんな人 『信長公記』に見える本当の姿 岡部 雄 著 小学館スクウェア 909(税別)

3 謙信×信長 乃至政彦 著 PHP 研究所 1,350(税別)

4 家康の選択 小牧・長久手 鈴木輝一郎著 毎日新聞出版 1,800(税別)

5 信長の正体 本郷和人 著 文春文庫 720(税別)

6 城に学ぶ 東海学センター編 名古屋 風媒社 1,800(税別)

7 長篠合戦 鉄砲隊の虚像と実像 金子拓 著 中公新書 900(税別)

8 浅井長政と姉川合戦 その繁栄と滅亡への軌跡 太田浩司 著 サンライズ出版 1,500(税別)

9 信長の謀計 桶狭間合戦の真相 太田輝夫 著 文芸社 1,300(税別)

(12)小牧市文化財啓発事業調査研究委託担当部署

(委託者) 小牧市教育委員会事務局文化財課 課長 武市 礼子、係 藤岡 幹根

(受託者) 愛知文教大学地域連携センター

4. FD委員会 定期会議の実施

年間6回実施 5月1日(木)、7月3日(木)、9月11日(木)、11月6日(木)。1月22日(木)、3月5日(木)

授業公開の実施

2025年6月18日(水)～7月2日(火)対面形式で実施した。

担当教員(常勤・非常勤)は期間内に担当授業の開始 30 分間を公開し、常勤教員は他教員の授業を 1 回以上参観の上、観察記録を提出することとした。授業観察報告の提出者は 15 名(専任教員 14 名、非常勤教員 1 名)、全見学件数は 17 件(専任教員担当授業 15 件、非常勤教員担当授業 2 件)であった。

5. 学び合う学び研究所 セミナー事業報告書

- (1) 毎月土曜日に月例セミナーを 13:30～15:30 に実施した。
- (2) 2025 年度は継続講座として、①「実践教育論文の書き方を学ぶ」を設定し、複数回継続した学びの機会を提供することができ、実践研究論部の執筆が生まれた。
- (3) 6月、2月のセミナーでは、本学卒業生であり、現場で活躍している現職教員を招聘し、本大学の教職コースの学生が参加して実践を学び合うことができた。
- (4) 13の教育委員会に後援申請を行い、広く参加者を募った。(愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・小牧市教育委員会・春日井市教育委員会・岩倉市教育委員会・犬山市教育委員会・豊明市教育委員会・北名古屋市教育委員会・豊山町教育委員会・清須市教育委員会・江南市教育委員会・瀬戸市教育委員会・尾張旭教育委員会) それによって、セミナーの内容を、県内の広い範囲の授業実践を集めることができ、また、他市町からの参加者が広がり新しい視点での協議をすすめることができた。

令和7年度 学び合う学び研究所 セミナー実績報告書

2025年度	セミナー内容	辦	継続講座	辦
4月19日土	テーマ 「授業分析とは」 講師 柴田好章氏 名古屋大学大学院 教授 学び合う学び研究所シニアフェロー	35	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島淑子先生	1
5月17日土	テーマ 「特別支援教育を標準準備に」 コメンテーター 中川 行弘氏 学び合う学び研究所フェロー	13	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
6月21日土	テーマ 「少経験者の実践研究会」 コメンテーター 倉知 雪春氏 学び合う学び研究所フェロー 模擬授業者 荒金 将梧氏 あおぞら高等学校 教諭	6	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
7月19日土	テーマ 「学び合う学びとICTの活用」 授業者 丹羽浩一氏 小牧市立桃陵中学校 コメンテーター 後藤 孝文氏 学び合う学び研究所フェロー	12	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
8月23日土	テーマ 「子どもたちの学びを実現」 授業者 河合佐武氏 小牧市立米野小学校 コメンテーター 副島 孝氏 学び合う学び研究所シニアフェロー	15	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
9月6日土	テーマ 「問題解決学習の実践から考える主体的な学び」 授業者 伊倉 剛氏 刈谷市立朝日中学校 教頭 コメンテーター 埜寄 志保氏 東海学園大学 講師	12	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
10月18日土	テーマ 「少経験者の実践研究会」 コメンテーター 木村 芳博氏 学び合う学び研究所フェロー	7	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
11月8日土	テーマ 「新しい学びの方向性を探る」 授業者 岩瀬映里氏 岩倉市立岩倉北小学校 コメンテーター 高橋 宏滋氏 岩倉市教育委員会 授業デザインアドバイザー	18	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
12月7日土	テーマ 「学びを楽しむ授業づくり・学校づくり」 授業者 太田莉子氏 小牧市立米野小学校 コメンテーター 林 文通氏 学び合う学び研究所フェロー	28	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1

1月24日	テーマ「図形楽譜づくりによる音楽鑑賞の授業」 コメンテーター 横山 真理氏 東海学園大学 教授	17	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 研究所所長 中島 淑子先生	1
2月14日	テーマ「少経験者の実践研究会」 模擬授業者 鈴木音梨絵氏 愛知県立高等学校 教諭 コメンテーター 栗木 智美氏 学び合う学び研究所フェロー	6	実践教育論文の書き方を学び、研究所の研究紀要に掲載を目指す。 学び合う学び研究所所長 中島 淑子先生	未実施
合計		169		10

6. 教職課程研究センター報告

(1) 学習チューター（小牧市教育委員会）

年度	学校名	学年	参加人数	回数
令和7年度	小牧市立桃ヶ丘小学校	3年	1名	5
9月17日、9月18日に小学校体験活動実施	小牧市立桃ヶ丘小学校	1年	4名	8
	小牧市立篠岡小学校	1年	4名	8
	小牧市立大城小学校	1年	4名	8
	合計			29

(2) 文教子どもフェスタ in 小牧

一般参加費 84名

クリスマスリース参加者 12名

(3) 2025年度 星槎大学 通信教育受講者はありませんでした。

(4) 教員採用関係

池田 安寿(イケダ アズ) 2026年3月卒業 国語 愛知学院大学 大学院進学

戸本 和馬(トモト カズマ) 2026年3月卒業 国語 春日井市立岩成台中学校 常勤講師

7. 紀要編集委員会報告

『愛知文教大学論叢 第28巻』の発行

発行部数 :50部発行

8. 大学院報告

4月2日 令和7(2025)年度入学式(国際交流会館) 2名入学

5月13日 令和7(2025)年度春期修了予定者修士論文中間発表会(303教室) 2名発表

8月6日 令和7(2025)年度春期修了予定者修士論文最終試験(中会議室) 2名を対象に実施

11月18日 令和7(2025)年度秋期修了予定者修士論文中間発表会(201教室) 2名発表

2月4日 令和7(2025)年度秋期修了予定者修士論文最終試験(401・402教室) 4名を対象に実施

3月17日 令和7(2025)年度学位記授与式(ホテルプラザ勝川) 4名修了

別表1

基準	基準項目	「評価の視点」と「評価の視点に関わる自己判定の留意点」	評価 (S・A・B・C)	
基準1. 使命・目的	1 - 1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映	①学内外への周知 □ A.使命・目的及び教育研究上の目的をどのように学生、教職員、役員、学外関係者に周知しているか。	S	
		②中期的な計画への反映 □ A.使命・目的及び教育研究上の目的を中期的な計画に反映しているか。	S	
		③三つのポリシーへの反映 □ A.使命・目的及び教育研究上の目的を三つのポリシーに反映しているか。	S	
		④教育研究組織の構成との整合性 □ A.使命・目的及び教育研究上の目的を達成するために必要な学部・学科などの教育研究組織を整備しているか。	S	
		⑤変化への対応 □ A.社会情勢や組織の改編などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育研究上の目的の検証を行っているか。	S	
基準2. 内部質保証	2 - 1. 内部質保証の組織体制	①内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立 □ A.内部質保証に関する全学的な方針を明示しているか。 □ B.内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。 □ C.内部質保証のための責任体制が明確になっているか。	S A (組織体制図が 未作成) S	
		2 - 2. 内部質保証のための自己点検・評価	①内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有 □ A.内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。 □ B.エビデンスに基づく自己点検・評価を定期的実施しているか。 □ C.自己点検・評価の結果を学内で共有しているか。	S S S
			② IR (Institutional Research) などを活用した十分な調査・データの収集と分析 □ A.現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行う体制を整備しているか。	S
	2 - 3. 内部質保証の機能性	①学生の意見・要望の把握・分析、結果の活用 □ A.アンケートや学生との対話をはじめとする、学修支援、学生生活、学修環境などに対する学生の意見・要望をくみ上げるシステムを適切に整備しているか。 □ B.学生の意見・要望の分析結果を教育研究や大学運営の改善・向上に反映しているか。	A (くみ上げ後の 活用がややできて いないところがある) S	
			②学外関係者の意見・要望の把握・分析、結果の活用 □ A.学外関係者に意見・要望を聞き、その分析結果を教育研究や大学運営の改善・向上に生かす努力をしているか。	S
		③内部質保証のための学部、学科、研究科などと大学全体のPDCA サイクルの仕組みの確立とその機能性 □ A.三つのポリシーを起点とした内部質保証を行い、その結果を教育研究の改善・向上に反映しているか。 □ B.自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果を踏まえた中期的な計画に基づいた大学運営の改善・向上のための内部質保証の仕組みが機能しているか。 □ C.自己点検・評価、認証評価などの結果を積極的に公表・説明し、学生や学外関係者の理解・支持を得られるよう努力しているか。	S A (中期的な計画 がやや不足) A (より積極的な 説明が必要)	

以上

令和7年度 愛知文教女子短期大学事業報告書

1. 施設・設備改修計画及び実施

- | | |
|---|--------------|
| (1) 排水槽ポンプ修繕Ⅲ号館地下
排水ポンプの故障のため更新工事を実施 | (1,034,000円) |
| (2) 空調機取付工事(移設取付)Ⅱ号館2階図工室
経年劣化による故障のため、更新工事を実施 | (480,700円) |
| (3) 自動水栓一体形電気温水修繕Ⅱ号館1階パウダールーム
経年劣化による故障のため、修繕工事を実施 | (297,000円) |
| (4) 冷温水発生機2号機・3号機Ⅲ号館空調
経年劣化による故障のため、修繕工事を実施 | (182,930円) |
| (5) 冷温水発生機1号機バーナーブロックⅢ号館空調
経年劣化による故障のため、修繕工事を実施 | (60,500円) |
| (6) 通路、教室照明器具取替工事Ⅲ号館1階3階
経年劣化による故障のため、更新工事を実施 | (77,000円) |

2. 地域連携センター

- | | |
|---|-----------------------|
| (1) 保育のおしごと体験イベント 約10名 11/26(水) 鈴木・赤塚 | |
| (2) 令和7年度「のびのびセミナー」 | |
| ①「親子でカードゲームやボードゲームを楽しもう」 | 25組 6/3(火) 牧川保育園 赤塚 |
| ②「親子でつくってあそぼう」 | 19組 6/19(木) 祖父江保育園 鈴木 |
| ③「親子で楽しむ音楽あそび」 | 30組 6/4(水) 子生和保育園 国藤 |
| (3) 図書館ボランティア 10/4(土) 稲沢中央図書館 学生3名
11/22(土) 祖父江の森図書館 学生6名 | |
| (4) 稲沢消防署ボランティア 幼児教育学科5名参加協力 | |
| (5) 荻須記念美術館 大学パートナーシップ事業
学生106名(11/14生活文化学科18名、11/19幼児教育学科1部1,2年17名+第3部1年34名、11/25幼児教育学科3部3年37名) | |
| (6) キャリアプラス | |
| ① 稲沢警察 防犯啓発 | 4/23 学生5名 |
| ② 防犯キャンペーン | 7/8 6 |
| ③ 稲沢市立中央図書館 絵本の読み聞かせ | 10/4 3 |
| ④ 稲沢サンドフェスタ | 10/11 2 |
| ⑤ 稲沢警察 一日警察署官 | 10/15 6 |
| ⑥ 祖父江の森図書館 絵本の読み聞かせ | 11/22 6 |
| ⑦ そぶえイチョウ黄葉まつり | 11/23 1 |
| ⑧ ウルドタウン稲沢 DAY 稲沢市PRブース | 11/30 3 |
| ⑨ 年末の安全なまちづくり県民運動 | 12/18 5 |
- ※ボランティア活動が認められ、本学の地域防犯活動に対し、稲沢警察署より「令和8年 稲沢警察署感謝状」を授与。
- | | |
|---------------------------------|--|
| (7) 稲沢警察 防犯啓発 4/23(水) 学生参加人数5名 | |
| (8) 防犯キャンペーン 7/8(火) 学生参加人数6名 | |
| (9) 稲沢サンドフェスタ 10/11(土) 学生参加人数2名 | |

- (10) 稲沢警察 一日警察署官 10/15 (水) 学生参加人数 6 名
- (11) そぶえイチョウ黄葉まつり 11/23 (日) 学生参加人数 1 名
- (12) ウルドタウン稲沢 DAY 稲沢市 PR ブース 11/30 (日) 学生参加人数 3 名
- (13) 年末の安全なまちづくり県民運動 12/18 (木) 学生参加人数 5 名

3. 足立学園総合研究所「生涯学習講座」

(1) AFA

- ① 楽しい茶道 裏千家の茶道を学ぶ 春期 8 名・秋期 10 名 月 2 回全 12 回
- ② 季節を彩る染色～基礎コース～ 春期 7 名・秋期 7 名 月 3 回全 21 回
- ③ 暮らしを楽しむ染色～応用コース～ 春期 4 名・秋期 4 名 月 3 回全 21 回

第 62 回稲沢市民展（制作作品は稲沢市民展へ出展）

教育委員会賞 1 名、入選 5 名、無鑑査 1 名

※無鑑査：前回および前々回の「愛知県教育委員会賞」「市長賞」受賞者は、無鑑査出品（審査なしで展示）。

(2) コミュニティーカレッジ

- ① 心で読む朗読 春期 13 名・秋期 16 名 月 1 回全 7 回
- ② 稲沢の盆踊り!みんなで輪になって踊ろう 7/26
参加者数 一般 26 名、学生ボランティア 2 名
- ③ ミニ盆栽ワークショップ 3/11：20 名 3/14：20 名 全 2 回

収支報告：施設使用料として、一人 1 回 300 円を半期ごとに大学会計に納入。

講座		内訳	金額
春期	染色講座	97 人×300 円	29,100 円
	茶道講座	40 人×300 円	12,000 円
	朗読講座	34 人×300 円	10,200 円
秋期	染色講座	111 人×300 円	33,300 円
	茶道講座	49 人×300 円	14,700 円
	朗読講座	56 人×300 円	16,800 円
合計		387 人×300 円	116,100 円

(3) 地域連携事業

- ① サマーカレッジ 親子で楽しむアップサイクル 絵本カバーでつくる世界にひとつだけのバッグ 8/5 稲沢市中央図書館
参加者：小学生と保護者 11 組、学生ボランティア 2 名
- ② 豊田合成株式会社・TG SPORTS 株式会社
エントリオで開催されるバレーボール、ハンドボール、バスケットボール等の試合に招待を受け来場し応援（4/5, 4/17, 5/10, 5/17, 12/20-21, 2/14-15, 2/23, 3/7）
- ③ 株式会社名古屋食糧太田油脂連携事業
サンクスフェスタ（4 月）、新春大感謝祭（1 月）で、産学連携開発商品の販売イベントを実施。生活文化専攻の学生の実践機会として、無料で出店
大豆グラノーラ商品開発（岡崎市）
- ④ 株式会社株式会社おとうふ工房いしかわ連携事業

SDGs AICHI EXPO に出展 (10/3-4)

大豆グラノーラ商品開発

稲沢市：みたらし味を開発、4月に販売イベント

小牧市：メープル味、手羽先味を商品化

岡崎市：味噌ココア味を商品化

大麦に関する市場調査

⑤ 社会福祉法人 昭徳会江南市 ぱりまる販売推進事業

ウィンクあいち1階のウィンクカフェにて「ぱりまる」の取り扱いを開始

ぱりまるパッケージリニューアル

⑥ 社会福祉法人 信竜会 7/7 セタイイベント(浴衣を着て高齢者と交流)実施

4. 文教おやこ園

活動費：稲沢市役所からの助成金430万円

(1) 開催日数及び延べ人数 (名)

開催月	開催日数		利用者			学生参加						
	通常開催	臨時開催	総人数	保護者	子ども	自主実習	授業	補講	課題	公務員対策講座	委員会	学生参加企画
4月	19	0	459	228	231	29	101	0	0	0		0
5月	19	0	564	280	284	20	61	0	0	0	5	0
6月	21	0	692	342	350	14	138	0	0	2	3	0
7月	21	1	678	336	342	6	125	5	0	0	3	0
8月	16	0	460	225	235	1	0	5	5	2		0
9月	20	0	502	248	254	2	0	0	0	0		0
10月	21	1	592	290	302	7	147	0	0	0	4	0
11月	17	1	418	202	216	14	64	9	0	0	2	0
12月	18	0	562	268	291	7	99	1	0	0	3	4
1月	19	0	514	245	269	0	81	10	0	0	7	0
2月	18	0	447	214	233	1	0	0	1	0		0
3月	20	0	454	212	242	0	0	0	0	0		0
合計	229	3	6342	3090	3252	101	816	30	6	4	27	4

(2) 授業等での活用

- ①子ども家庭支援論：柘宜 ②音楽表現指導法：国藤・玉田
 ③子どもの健康と安全：岩瀬 ④乳児保育Ⅰ：赤塚
 ⑤乳児保育Ⅱ：赤塚 ⑥子育て支援：赤塚
 ⑦子育て支援演習：赤塚 ⑧保育学(生活文化学科)：大竹
 ⑨保育者論：鈴木 ⑩キャリアチャレンジ：赤塚 ⑪基礎ゼミ

(3) 高大連携授業

愛知県立杏和高校(お昼寝アート)19名

(4) ボランティアの受入れ

稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携

8月5日・8月6日(2日間)愛知啓成高校1年生4名

(5) おやこ園委員会(活動内容や行事について保護者と学生が意見を出し合いながら交流する会)

開催日：5月26日(月)、6月26日(木)、7月7日(月)、9月29日(月)、10月30日(木)、11月10日(月)、12月23日(火)、1月13日(火)、3月31日(火) 計9回開催

利用者委員：5名 学生委員：5名

(6) 教員による子育て講座

開催日	担当教員	テーマ
4月15日(火)	五十嵐	「ねないこはわたし」せなけいこさんのお話
5月13日(火)	伊串	図書館司書おすすめのしかけ絵本
6月9日(月)	岡田	おうちでストレッチ
7月30日(水)	赤塚	保育の今
8月4日(月)	星野	ぶんきょう幼稚園の園長先生のお話
9月9日(火)	朴・伊串	韓国語の絵本の読み聞かせ、韓国の遊び(ユンノリ)の紹介
10月23日(木)	大竹	おやこふれあい遊び
11月10日(月)	赤塚	おもちゃの講座～非認知能力を育む遊びについて～
12月4日(木)	鈴木	ICTを使った遊び体験
1月28日(水)	国藤・玉田	親子で楽しむ音楽遊び
2月9日(月)	山崎	英語で絵本の読み聞かせ
3月30日(月)	赤塚	地域でつながる子育て講座

(7) 利用者（パパ・ママ講師）による講座

開催日	テーマ	講座内容
6月11日(水)	親子あそび	ママによる手あそび歌や絵本の読み聞かせ
10月20日(月)	ママによる絵本の読み聞かせ	ママによるおすすめ絵本の紹介と読み聞かせ

(8) その他の講座

開催日	担当	テーマ	講座内容
6月11日(火)	稲沢市消防職員	幼児救命法	乳幼児期に起こりやすい事故やけがの対処法、心肺蘇生法
7月1日(火)	さかいこども歯科管理栄養士	お口を育てる離乳食	お口と体の成長に合った離乳食の進め方
7月14日(月)	TEAM・K 講師	親子でチアダンス	親子で簡単な振り付けのダンス
9月5日(金)	江崎グリコ管理栄養士	防災のお話	災害への備えと液体ミルクの使い方
12月24日(水)	人形劇団「ぼてとん」	人形劇を楽しもう	「にじいろのどんぐり」の鑑賞

(9) その他

- ・インスタグラムの投稿 63 回（活動報告、お知らせ、園だよりなどの発信）
- ・おやこ園開園 9 周年記念「あまりやんず」によるパフォーマンス
- ・文教音楽祭元おやこ園利用者によるステージでの楽器演奏 ・大学祭おやこ園ブース出展
- ・学生交流企画「文教みんなのクリスマスコンサート」 ・「卒園児の日」開催

5. 学生支援：学生自治会

(1) 大学祭

- ① 日時 令和 7 年 10 月 25 日（土）午前 10 時～午後 3 時まで 本学にて実施
- ② テーマ 青春レボリューション～主役は私～ ※大学祭実行委員会主催
- ③ 参加者数 訳 330 名（在学生、保護者、卒業生等）
- ④ 日程
 - 10：00 オープニング（体育館）学長・実行委員挨拶
 - 10：15 ステージ発表 ①BUNCHU STREET（ダンス）、②そるとくーん（歌唱）、
③にゃんこすたーず（団囃）、④2 WINGS（楽器演奏）、⑤NANA（ダンス）、
⑥音鳴【おとなり】（歌唱）、⑦教員チーム（ジェスチャーゲーム）
 - 10：00 おやこ園商会コーナー
 - 11：00 企画展 ①VR 体験、②占い、③絵の販売、④手作り作品販売
 - 12：00 スポーツ企画（体育館） ①クロリティー、②風船バレー、③PK、④ツイスター、
⑤カードゲーム、⑥紙コップ積み
 - 13：50 大道芸人「わっしょいゆ～た」

14:20 抽選会 (体育館)・エンディング (体育館) 副学長挨拶

※スタンプラリー ※キッチンカー3台 ※稲沢グランドボウルキャラクター登場

⑤ 予算額：400,000円 執行額：392,332円

(2) 学生自治会企画イベント

① 流しそうめん

目的 流しそうめんて夏を楽しむ

日時 7月29日(火) 12:15~14:00

場所 中庭

参加者数 約30名

予算：8,550円

② Winter sport festival

目的 スポーツ(ドッジボール)を通して学生同士や教職員との仲を深める

日時 令和7年12月17日(水) 13:00~14:15

場所 体育館

参加者数 約20名

予算：2,440円

(3) クラブ活動

① ペタンクサークル 14名 大会出場 予算：26,560円

② 楽しむ会サークル 23名 運動遊び等 予算：7,400円

6. 学生支援：学長奨励賞

食物栄養	栄養士実力認定試験 A 判定	7名	1,500円	4,500円
生活文化	秘書技能検定 2級	1	2,500	2,500
	マルチメディア検定	3	2,500	7,500
幼児教育	公務員合格	12	13,000	156,000
合計				170,500円

7. 生活文化学科

(1) 学科共通

① みんないっしょのクリスマス2025(連続23年継続事業)

令和7年度 12月13日開催 募集20名、参加14名

令和8年度 12月12日開催予定

② 高齢者福祉施設における七夕茶会の開催

7月7日実施 社会福祉法人信竜会の高齢者福祉施設(特別養護老人ホーム「信竜」、ケアハウス信竜1号館・2号館、デイサービス「おひさま」)を訪問しを学生が浴衣姿で訪問し、暑中見舞いカードの手渡し、歌やダンスでの交流を行った。

(2) 食物栄養専攻

① 食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」(連続22年継続事業)

令和7年度(Part22)6月28日 参加人数：20名

10月11日 参加人数：20名

令和8年度(Part23)開催予定 6月20日 および 10月17日

(3) 生活文化専攻

① 稲沢市、近隣自治体、地域産業との協働プログラムの推進

1) 産学連携開発商品「ぱりまる」「ことちゃんのアイス」「夢みるグラノーラ」の販売促進として、産学連携開発商品のサイトを作成。10月3日(金)・4日(土)の2日間、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」で開催された「SDGs AICHI EXPO 2025」に愛知文教大学と連名で出展。産学連携による商品開発の取組を紹介。10月3日には、ステージイベント「イイコトつながる!大豆グラノーラで未来をつくる」を開催。食の

- 力で健康・環境・福祉・地域をつなぐ新しい“イイコト”の形を提案。
- 2) 授産所高浜安立と協働し、ぱりまる新パッケージの作成。ウイंकカフェなど販売ルートの拡大を実施。
 - 3) おとうふ工房いしかわと産学福祉施設連携で、大豆グラノーラの商品開発、市場調査を実施。
岡崎市内の就労支援継続B型作業所BAOBAOの家と味噌ココア味の開発、販売を開始。
商品紹介のために、稲沢市長、岡崎市長への表敬訪問を実施。
 - 4) いなざわ植木まつり、太田油脂株式会社 サンクスフェスタ、新春大感謝祭で、産学連携開発商品のPRと販売。
 - 5) 稲沢市荻須記念美術館 特別展 美術鑑賞。学芸員による解説付きで「特別展 荻須高德リトグラフ展」を鑑賞。
 - 6) 株式会社「光建」との共同研究における卒業研究（砂田ゼミ）の活動。

8. 幼児教育学科

- (1) 幼児教育学科第1部・第3部企画運営の「第16回文教こどもフェスタ」開催：2025年7月12日（土）10：00～12：00に実施した。予算255,000円の半分である127,500円は稲沢市からの補助であった（2025年5月12日交付決定、「令和7年度 稲沢市学校法人の助成に関する補助金」）。参加者は大人135名、子ども131名、合計266名であった。
- (2) 学生ボランティア活動：
 - ① 図書館絵本の読み聞かせボランティア活動：稲沢市立中央図書館にて10月4日（土）11：00～11：30に実施した。幼児及び小学校低学年の親子40名を対象に、学生3名が手遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせ、活動遊び等を行った。また、祖父江の森図書館においても、親子30名を対象に同様の読み聞かせ活動を11月22日（土）11：00～11：30に実施した。
 - ② 稲沢西小学校授業サポートボランティア活動：レクリエーションインストラクターを取得した3部3年8名、3部2年4名が、月～木の小学校の時間割5・6時限において授業サポートボランティア活動を実施した。実施日は、5月14日・21日・28日、6月2日・30日、7月2日、10月2日・3日、11月5日・10日・12日、12月9日、1月13日の計13回であった。参加学生は延べ23名であった。参加児童延べ人数は、2年生～6年生まで28組の計1,214名であった。活動内容（児童数）は、以下のとおりである。

【体育】6年生 走り高跳び（27）、ハードル走（27）
5年生 縄跳び（32）
4年生 鉄棒（27）、縄跳び（27）
2年生 跳び箱（35）
1年生 縄跳び（29）、しっぽとり（30）
あおば（特別支援） 授業補助（24）

【図工】3年生 のこぎり、金づちの使い方（29）
あおば（特別支援） 授業補助（24）

【生活】3年生 どんぐりこま作り（29）

【プラスワン】（多様な学習活動支援事業）

※高学年と一緒に下校できるように低学年が5、6時限に活動する稲沢市の取組み

2年生 体づくり運動、塗り絵（105）
1年生 折り紙、PC・タブレット（114）
- (3) 教員による地域貢献：稲沢市の依頼による「のびのびセミナー」において、3名の教員が講師として地域貢献活動を行った。活動園は、牧川保育園 年長児親子25組（赤塚先生）、祖父江保育園 年長児親子19組（鈴木先生）、子生和保育園 年長児親子30組（国藤先生）であり、実施時期は5月～7月であった。
- (4) 第8回ホームカミングデー開催：閉校に伴い短大訪問を希望する卒業生が多数いたことから、2025年度は新卒対象に限らず、幼児教育学科全卒業生を対象としたホームカミングデーを開

- 催した。開催日は6月14日（土）10：30～11：30で、退職教員4名を含む15名の幼児教育学科教員が参加した。卒業生は51名が参加した（2004年度卒業生から2025年度卒業生が参加）。内容としては、学び直し講座として「今日の保育現場で必要とされる保育（担当：大竹先生）」を実施し、後半は交流会を開催した。
- (5) 教職員と学内交流会：本年度で3回目となる学内交流会を4月～1月までに全7回実施した。教職員と学生がともに企画し、交流を図った。
 - (6) 文教こども音楽会の開催：2025年11月8日（土）13：00～14：30に実施した音楽祭には、一般参加者213名、ぶんきょう幼稚園年長組75名、教職員・幼児教育学科教職員、文教おやこ園保護者アンサンブル4名が参加した。幼児教育学科の学生・教員によるダンス、手遊び、オペレッタ、マーチング等を披露した。
 - (7) 高大連携授業：杏和高校2コマ（担当：赤塚先生）、佐屋高校4コマ（担当：鈴木先生）、西菱高校1コマ（担当：国藤先生と玉田先生）の3校で連携授業を実施した。
 - (8) ニュージーランド短期保育研修：1部2年1名が履修し、2026年3月1日（日）～3月11日（水）の10泊11日間の研修を実施した。
 - (9) 幼児教育学科会FD研修：「学生のボランティア活動について」をテーマに、7月23日（水）15：00～16：00に実施した。「全国こども福祉センター」理事長を兼任している荒井和樹先生が講師を務め、幼児教育学科教員全員が参加した。
 - (10) ようきょう交流会：幼児教育学科学生の先輩と後輩が交流し、学校満足度の向上を図るとともに、大学生活に関する情報交換を通じて大学生活をより充実させることを目的に実施した。地域別にグループ分けを行い実習に関する情報交換ができるようにしたほか、就職希望別にグループ分けを行い就職活動に関する情報交換ができるようにした。
 - (11) ステップアップ講座：GPAの低い学生の学習支援として、8月にステップアップ講座を毎年実施している。2025年度は8月6日（水）に計8コマ実施した。1限目は、「漢字」、「保育実技（絵本・手遊び・パネルシアターなど）」、「レポートの書き方」、「実習日誌の書き方」を開講し、合計22名の学生が参加した。2限目は、「ピアノ個別指導」、「英語で絵本を読んでみよう」、「部分実習指導」、「指導案作成」を開講し、合計19名の学生が参加した。3限目は教職員と交流会を実施し、「キンボールでリフレッシュしよう！」として学生10名と学科教員が参加した。
 - (12) 稲沢市と共催の「保育のお仕事体験イベント」を実施した。2025年11月26日（水）9：15～14：00に本学で開講した。1限目は鈴木先生が担当し、「子どもを中心とした保育について」の講義及び製作体験を実施した。2限目は赤塚先生が担当し、「乳幼児期の生活と遊びの環境について」、文教おやこ園の見学と講義を実施した。本学の学食ランチを体験した後、3限目は稲沢市保育課及び愛知県社会福祉協議会の方々との相談会を実施した。参加者は8名であった。
 - (13) 稲沢市消防団の団員として、幼児教育学科学生第3部1年生5名が1年間活動した。学生消防団員として稲沢市消防団の活動に参加し、10月18日に行われた「いなざわまつり」の消防ひろばにも参加した。はしご車試乗体験や防火カルタ、スマホDEクイズなどのコーナーを通して地域の方々と交流した。子どもたちに防災の大切さを伝えながら、保育者を目指す学生にとって地域とのつながりや命を守る意識を育む貴重な経験となった。
 - (14) 「ぶんきょう幼稚園」での子育て支援講座を実施した。ぶんきょう幼稚園の行事である子育て支援講座に国藤先生、玉田先生が講師を務めた。2025年9月22日（月）に未就園児とその保護者を対象に、ICTを導入した保育の体験や、楽器と歌を通して保育における音楽体験を提供した。
 - (15) 公務員合格：2025年度は13名の学生が公立保育所に就職できた。合格した市町村は、刈谷市、岡崎市、北名古屋市、一宮市、名古屋市、あま市である。
 - (16) 稲沢市社会福祉協議会から依頼を受け、学生ボランティアを受け入れた。夏季休暇中の8月5日～6日の2日間の日程で、愛知啓成高校の1年生の4名が文教おやこ園でボランティア活動を行った。夏祭りのお手伝い、子育て支援の体験学習が主な内容であった。
 - (17) GPA1.2未満学生の学習指導を実施した。前後期の成績発表後、GPA1.2未満学生を対象に、

学習指導に加え、実習関連及び大学生生活指導を行った。指導内容は、進級認定・卒業認定会議の資料とした。

- (18) 「保育インターンシップ」を実施した。2025年度新設科目として実施したインターンシップには幼児教育学科の第1部1年生4名が参加した。インターンシップ先は、稲沢市の公立保育園（片原一色保育園、駅前保育園、大塚保育園、子生和保育園）であり、9月1日～12日の間に実施した。受け入れ先の園長先生から大変好評であった。
- (19) 「保育基礎ゼミナール」を実施した。2025年度新設科目として実施した基礎ゼミは、1年生を対象に保育に特化した初年次教育を内容とした科目であった。保育現場体験（ぶんきょう幼稚園）、児童養護施設や保育園長の講話とともに、保育行事体験（避難訓練、七夕おんがく会、プール開き等）、子育て支援施設（文教おやこ園）での体験、保育士へのインタビューからの学びなどを主な内容とした。

9. キャリア支援センター

	支払時期	支払内容	令和7年度			
			内訳 (実績)	予算	金額 (実績)	備考
学就連	5月	愛知県保育系学生就職連絡協議会 年会費	—	—	—	R7年度 未徴収
	4/25	愛知県幼保三団体協議会 情報交換会	—	¥5,000	¥0	R7 懇談会のみ出 情報交換会欠
求人依 頼	6月	求人票発送業者(幼児教育学科) ※印刷費・郵送料金	117件送付	¥198,000	¥37,440	
就活支 援	4月	求人検索NAVI 利用料金 株式会社ジェイネット		¥440,000	¥440,000	R7 短大のみ
公務員 キャ リア アチャ レンジ	前期	「保育就活教養講座」TAC株式会社 (幼教1部1年、3部2年受講)		¥375,000	¥375,000	
	後期	公務員講座 TAC株式会社 (学生負担 一人25,000円)				学生負担で実施
	随時	外部講師(卒業生等)講師代 ※交通費含む	1人2,500円	¥15,000	¥2,500	
	随時	公務員講座・キャリアチャレンジ 事務用品 お茶他	—	¥20,000	¥3,925	講師お茶 キャリアチャレ 便箋
郵便	9月	卒業後アンケート	59件送付	¥9,350	¥6,490	¥110×59
	9月 ～	内定先企業・施設お礼状	6件	¥8,820	¥720	
年間合計額				¥1,071,170	¥866,075	

以上

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

(単位:千円)

科 目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	784,886	659,983	613,953
	手数料収入	11,328	10,377	6,573
	寄付金収入	18,278	6,221	4,968
	補助金収入	257,404	215,990	236,317
	資産売却収入	183,516	90,430	829,726
	付随事業・収益事業収入	98,901	94,675	88,102
	受取利息・配当金収入	16,266	15,449	17,845
	雑収入	83,837	108,320	19,816
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	216,178	224,117	134,229
	その他の収入	500,156	366,277	312,568
	資金収入調整勘定	△ 318,565	△ 286,301	△ 254,508
	前年度繰越支払資金	817,251	792,121	654,613
	合 計	2,669,436	2,297,659	2,664,202
支出の部	人件費支出	801,910	761,691	710,855
	教育研究経費支出	319,939	277,608	289,267
	管理経費支出	295,213	258,558	232,960
	借入金等利息支出	5	3	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	44,574	7,380	2,035
	設備関係支出	24,791	23,815	25,739
	資産運用支出	150,000	120,000	110,000
	その他の支出	323,966	295,959	375,480
	資金支出調整勘定	△ 83,083	△ 101,968	△ 80,005
	翌年度繰越支払資金	792,121	654,613	997,871
	合 計	2,669,436	2,297,659	2,664,202

(2) 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:千円)

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
による教育活動 資金収支	教育活動による資金収入計	1,252,124	1,095,104	968,327
	教育活動による資金支出計	1,417,062	1,297,857	1,230,904
	差引	△ 164,938	△ 202,753	△ 262,577
	調整勘定等	△ 76,767	△ 33,960	△ 39,392
	教育活動資金収支差額	△ 241,705	△ 236,713	△ 301,969
による施設整備等 資金収支	施設設備等活動資金収入計	136,029	90,892	830,601
	施設設備等活動資金支出計	69,365	31,195	27,774
	差引	66,664	59,697	802,827
	調整勘定等	△ 883	23,964	△ 42,002
	施設設備等活動資金収支差額	65,781	83,661	760,825
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)		△ 175,924	△ 153,052	458,856
によるその他の活動 資金収支	その他活動資金収入計	526,342	339,701	261,888
	その他活動資金支出計	375,548	324,158	377,485
	差引	150,794	15,543	△ 115,597
	調整勘定等	0	0	0
	その他活動資金収支差額	150,794	15,543	△ 115,597
支払資金の増減額		△ 25,130	△ 137,509	343,259
前年度繰越支払資金		817,251	792,121	654,612
翌年度繰越支払資金		792,121	654,612	997,871

(3) 事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	784,886	659,983	613,953
		手数料	11,328	10,377	6,572
		寄付金	18,035	6,910	4,766
		経常費等補助金	255,654	215,990	236,317
		国庫補助金	117,246	87,784	105,137
		地方公共団体補助金	138,008	128,206	131,180
		若手・女性研究者奨励金	400	0	0
		付随事業収入	98,901	94,675	88,102
		雑収入	83,837	108,320	19,291
	教育活動収入計	1,252,641	1,096,255	969,001	
	事業活動支出の部	人件費	807,236	765,550	683,897
		教育研究経費	487,974	446,155	454,419
		管理経費	320,755	277,747	246,832
		徴収不能額等	0	0	1,070
	教育活動支出計	1,615,965	1,489,452	1,386,218	
教育活動収支差額	△ 363,324	△ 393,197	△ 417,217		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	16,266	15,449	17,845
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	16,266	15,449	17,845
	事業活動支出の部	借入金等利息	5	3	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	5	3	0
教育活動外収支差額	16,261	15,446	17,845		
経常収支差額	△ 347,063	△ 377,751	△ 399,372		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	119,797	67,018	13,001
		その他の特別収入	5,726	2,701	2,471
		特別収入計	125,523	69,719	15,472
	事業活動支出の部	資産処分差額	21,526	136,430	435,259
		その他の特別支出	0	0	15,078
		特別支出計	21,526	136,430	450,337
特別収支差額	103,997	△ 66,711	△ 434,865		
基本金組入前当年度収支差額	△ 243,066	△ 444,462	△ 834,237		
基本金組入額合計	0	0	0		
当年度収支差額	△ 243,066	△ 444,462	△ 834,237		
前年度繰越収支差額	△ 4,172,724	△ 4,351,768	△ 4,326,866		
基本金取崩額	64,022	469,364	1,312,634		
翌年度繰越収支差額	△ 4,351,768	△ 4,326,866	△ 3,848,469		
(参考)					
事業活動収入計	1,394,430	1,181,423	1,002,318		
事業活動支出計	1,637,496	1,625,885	1,836,555		

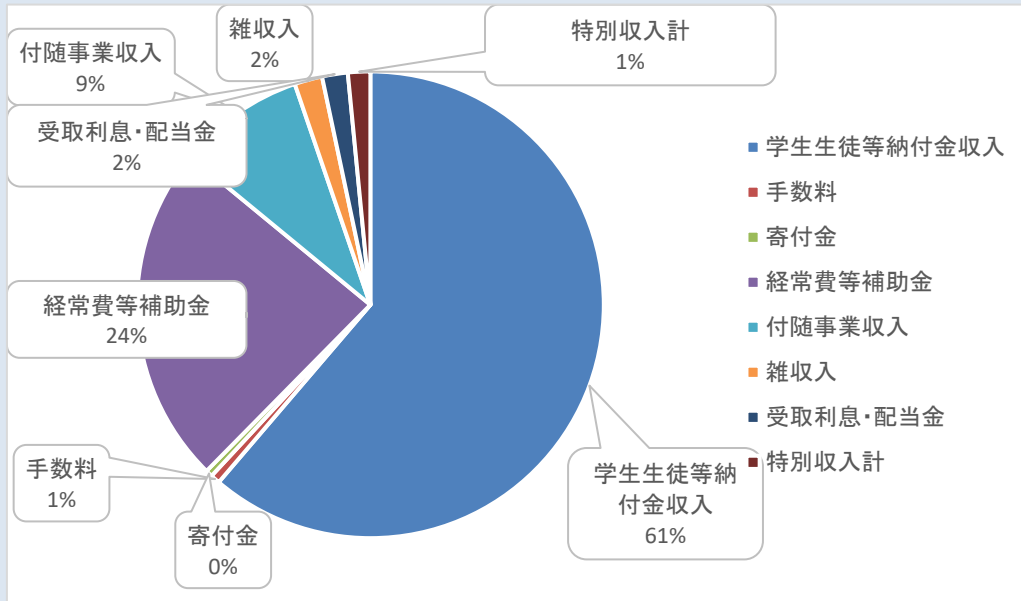
(4) 貸借対照表の推移

(単位:千円)

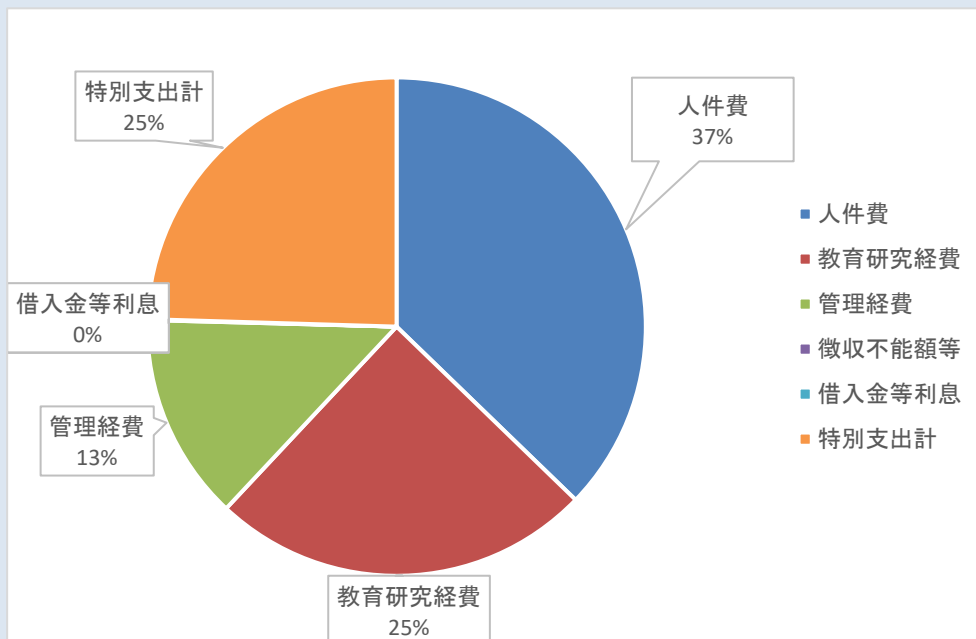
資 産 の 部			
科 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固 定 資 産	8,366,262	8,054,408	6,399,853
有形固定資産	7,536,961	7,229,039	5,829,927
特定資産	60,000	60,000	110,000
その他の固定資産	769,301	765,369	459,926
流 動 資 産	837,938	728,112	1,330,963
合 計	9,204,200	8,782,520	7,730,816
負 債 の 部			
科 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固 定 負 債	360,713	277,115	244,345
流 動 負 債	323,302	429,681	244,985
合 計	684,015	706,796	489,330
純 資 産 の 部			
基 本 金	12,871,953	12,402,590	11,089,956
繰越収支差額	△ 4,351,768	△ 4,326,866	△ 3,848,470
純資産の部合計	8,520,185	8,075,724	7,241,486
負債及び純資産の部合計	9,204,200	8,782,520	7,730,816

(5) 令和7年度 事業活動収入及び支出の構成比

《事業活動収入の構成比率》



《事業活動支出の構成比率》



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算式(×100)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費比率	人件費/経常収入	63.6%	68.9%	69.3%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	102.8%	116.0%	111.4%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	38.5%	40.1%	46.0%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	61.9%	59.4%	62.2%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-29.0%	-35.9%	-43.1%
補助金比率	補助金/経常収入	18.5%	18.3%	23.6%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

比率名	算式(×100)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	92.6%	92.0%	93.7%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	9.1%	8.3%	17.2%
流動比率	流動資産/流動負債	259.2%	169.5%	543.3%
総負債比率	総負債/総資産	7.4%	8.0%	6.3%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加わりました。

消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。

貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの
	収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
活動区分資金収支計算書	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
事業活動収支計算書	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの
	経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける
	臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業活動収支計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書

附 属 明 細 書

該 当 事 項 な し